

報道関係者各位

平成 22 年 9 月 8 日
住信 S B I ネット銀行

～ アフター 5 に関する調査 ～
現代のアフター 5 事情 お仕事帰りは「まっすぐ帰る」約 9 割
～ 理想は「スポーツ」「習い事」～

住信 S B I ネット銀行株式会社 (URL : <http://www.netbk.co.jp/>、本社 : 東京都港区、代表取締役 : 川島克哉、以下「住信 S B I ネット銀行」という) は、住信 S B I ネット銀行を利用する全国の 20 ~ 40 代のお客さま約 60,000 人に「アフター 5 に関する調査」を実施し、1,211 人より回答をいただきました。

***** **アンケート結果概要** *****

ここで言うアフター 5 とは、「お仕事帰りに自由に使える時間」を指します。

アフター 5 の過ごし方 「まっすぐ家に帰る」約 9 割

20 代から 40 代の会社勤めをされているかたに、アフター 5 の過ごし方をうかがったところ、86%のかたが「まっすぐ家に帰る」と答え、その理由として「仕事で疲れているから」(49%)、「お金をあまり使わないようにするため」(37%)を挙げました。

お仕事帰り、時間があったら したい

現実には「まっすぐ家に帰る」かたが約 9 割というアフター 5 ですが、「理想の過ごし方」はあるのでしょうか。そこでお仕事帰りに使える時間が今よりも多かったら何をしたいかうかがったところ、男性は「スポーツ(ジム、ジョギング等)」(44%)、女性は「習い事」(36%)がそれぞれ 1 位となりました。理想と現実の間には大きな開きがあるようです。

平均支出額約 6,300 円 配偶者の有無で大きな差

アフター 5 での支出額は、一週間平均で 6,257 円となりました。平均支出額を配偶者の有無で比較した場合、「配偶者有」が 5,623 円だったのに対して、「配偶者無」は 7,004 円となり、「配偶者無」のほうが平均して 1,400 円近く支出が多いことがわかりました。

「ノー残業デー」の退社時間 約半数が「定時に帰る」

お勤めの会社に「ノー残業デー」があると答えたかたは全体の 46%でした。その頻度は「週に 1 日」が 67%で最も多く、次いで「週に 2 日」(14%)となりました。また、「ノー残業デー」の退社時間をうかがったところ、「定時」が約半数の 49%、「定時ではないが普段よりも早い時間」が 30%となり、「ノー残業デー」が制度として機能していることがうかがえます。

家に帰ったら TV よりもインターネット

お仕事が終わった後の、ご自宅での過ごし方をうかがいました。その結果「インターネット」が 68%で 1 位となり、56%の「TV・DVDを見る」を上回りました。

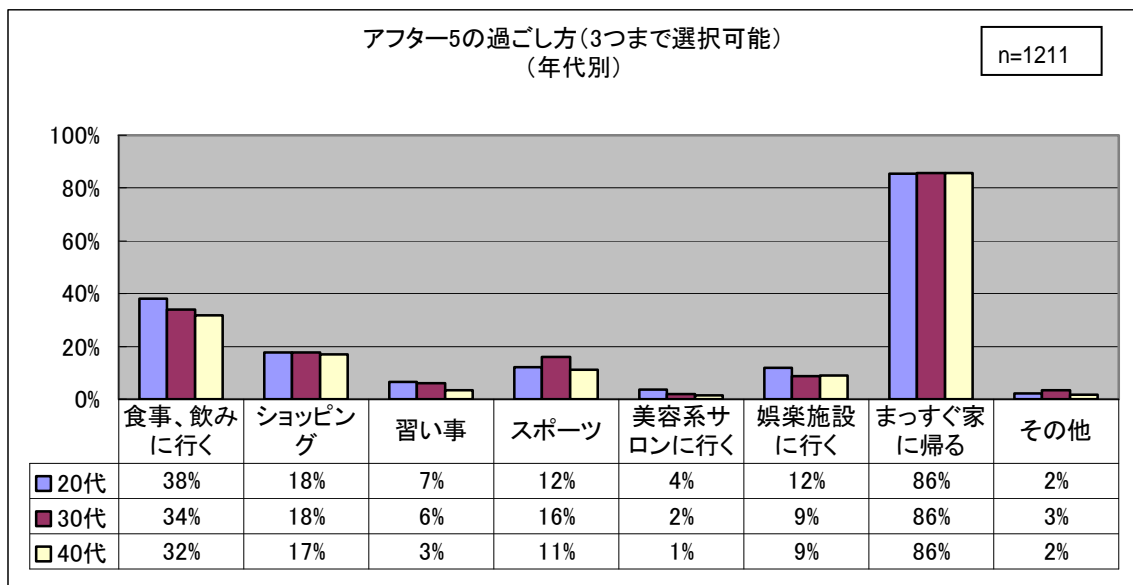
《アンケート調査概要》

調査期間	2010年8月17日(火)～8月20日(金)
調査対象	住信SBIネット銀行を利用する20～40代の個人
調査方法	インターネットアンケート
調査地域	全国
調査実施数	約60,000人(各世代約20,000人ずつ)
回答者数	1,211人 内訳(20代:270人 30代:444人 40代:497人)

《調査結果抜粋》

アフター5の過ごし方(年代別)

- まっすぐ家に帰る 86%

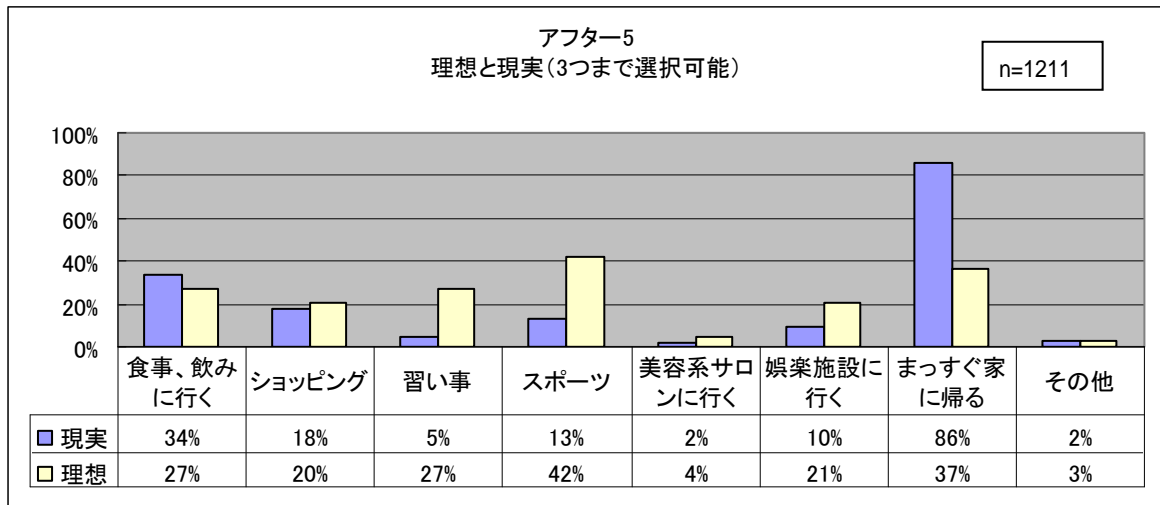


今回の調査では、アフター5の定義を「お仕事帰りに自由に使える時間」としています。

さらに、残業等で退社時間が遅くなった時のことは除外して考えていただいています。つまり、さほど残業で遅くならず、退社後自由に使える時間が比較的多い日の行動についてうかがったのですが、どの年代でも1位になったのは「まっすぐ家に帰る」でした。

理想のアフター5

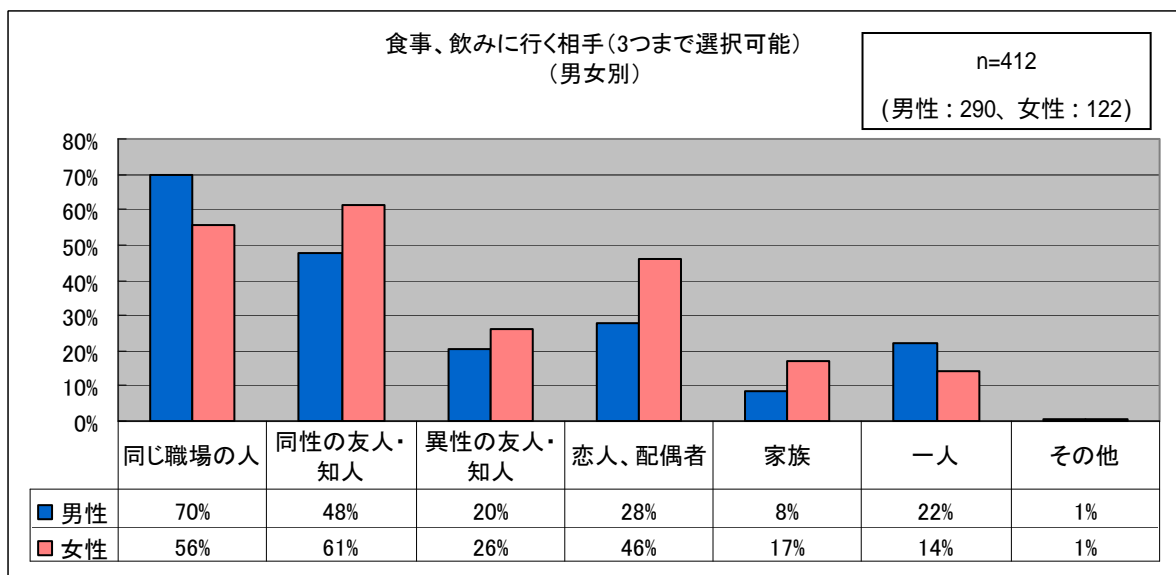
- まっすぐ家には帰らず「スポーツ」、「習い事」



お仕事帰りに自由に使える時間が現在よりも多かつたら何をしたいかうかがったところ、現実のアフター5とは異なった結果が得られました。「まっすぐ家に帰る」と回答したかたの割合は37%となり、反対に「スポーツ」や「習い事」と回答したかたの割合が増加しました。

食事、飲みに行く相手(男女別比較)

- 男性は「同じ職場の人」、女性は「同性の友人・知人」

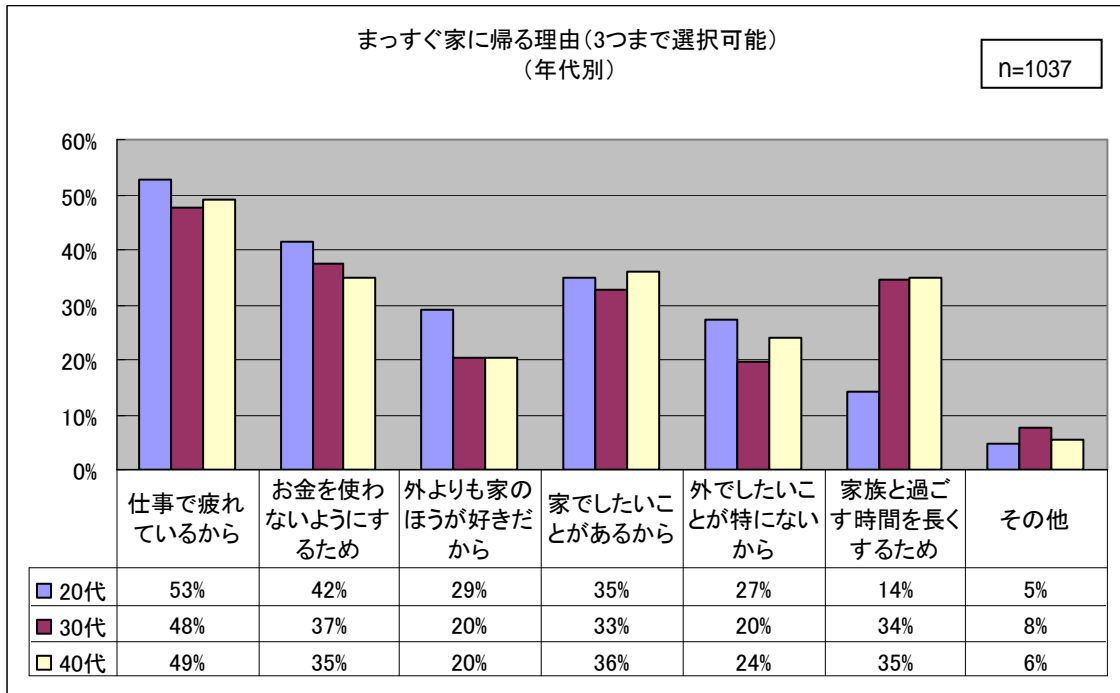


アフター5の過ごし方として「飲み、食事に行く」と答えたかたに、その相手をうかがったところ、男性は「同じ職場の人」(70%)、女性は「同性の友人・知人」(61%)がそれぞれ1位となりました。男性の場合は「飲みニケーション」、女性の場合は「女子会」としてアフター5を満喫しているようです。

配偶者と二人の場合は「家族」ではなく「恋人、配偶者」を選択

まっすぐ家に帰る理由（年代別）

- 「仕事で疲れているから」がトップ

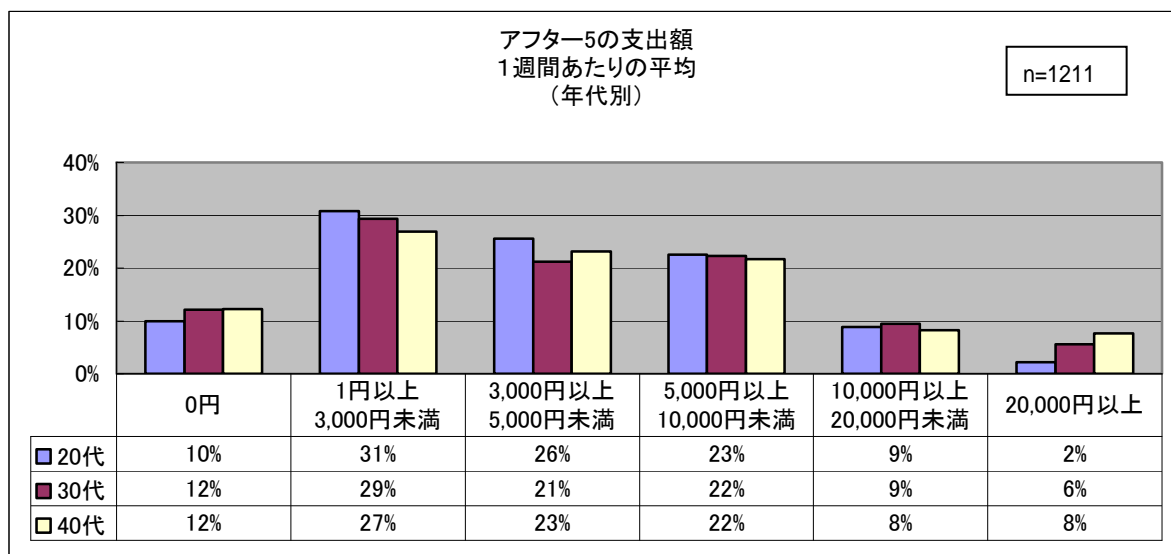


アフター5 の過ごし方として「まっすぐ家に帰る」と答えたかたに、その理由をうかがったところ、「仕事で疲れているから」が全ての年代でトップとなりました。

また、「お金を使わないようにするため」と答えたかたの割合は若い年代ほど高くなり、若者の節約志向が見て取れます。

アフター5の支出額（年代別）

- 平均支出額は 6,257 円



アフター5の支出額（飲食費、習い事の月謝等）の1週間あたりの平均額をうかがったところ、約半数が5,000円未満という結果になりました。全体の平均額では6,257円でした。（ ）

1週間で20,000円以上支出するかたの割合は、年代が上がるにつれて高くなっています。

選択肢の中央の値を抽出し計算しています。

（例）「1円以上3,000円未満」を選択した場合、中央の値 = 1,500円として計算

アフター5の支出額（配偶者の有無別）

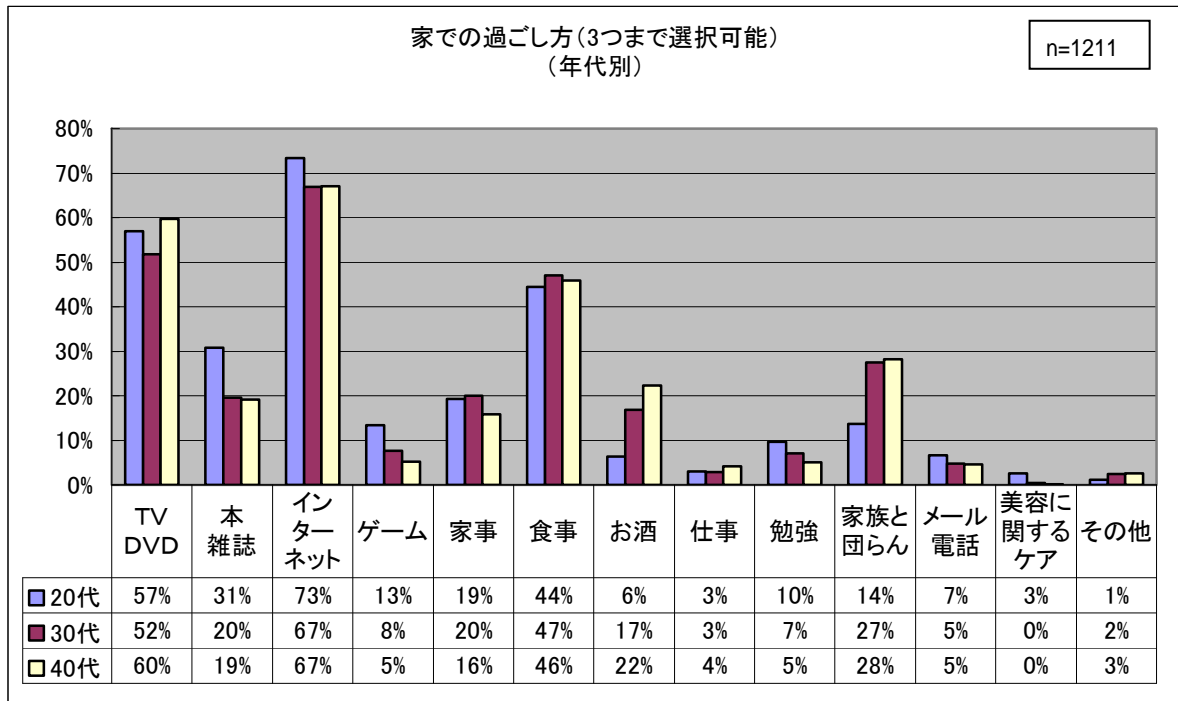
- 「30代配偶者無」は8,000円超 (n=1211)

	20代		30代		40代		全体	
配偶者	有	無	有	無	有	無	有	無
支出額	¥4,356	¥5,591	¥4,906	¥8,026	¥6,398	¥7,576	¥5,623	¥7,004

アフター5の支出額を配偶者の有無で比較してみると、「30代配偶者無」が8,026円と、最も支出をしていることがわかりました。最も支出が少ない「20代配偶者有」との差は約3,600円となっています。

家での過ごし方（年代別）

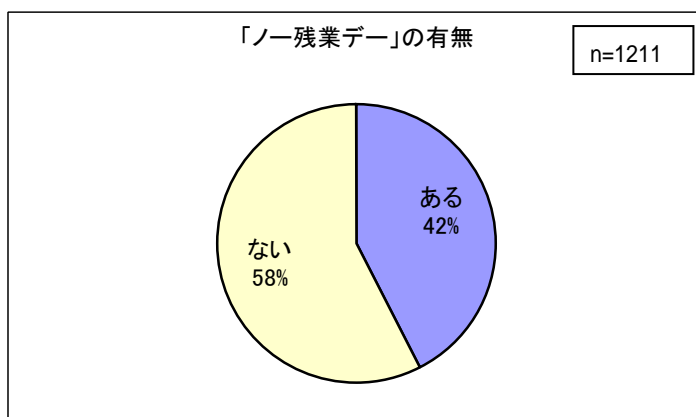
- TVよりもインターネット



お仕事が終わった後、ご自宅では主に何をしておすごすかがあったところ、「インターネット」が1位となり、「TV・DVDを見る」を上回る結果となりました。

「ノー残業デー」の有無

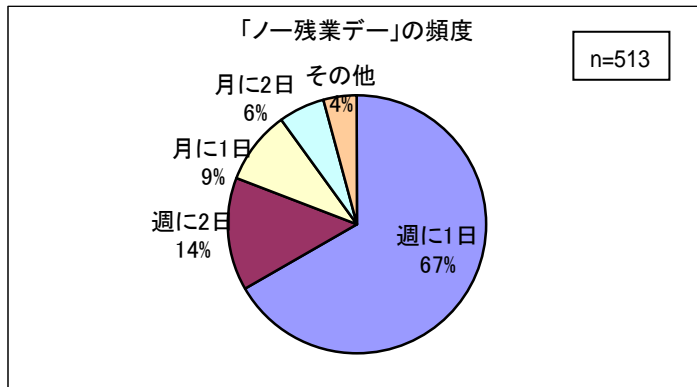
- 「ノー残業デー」は一般化？



お勤めの会社に「ノー残業デー」があるかがあったところ、42%のかたが「ある」と回答しました。

「ノー残業デー」の頻度

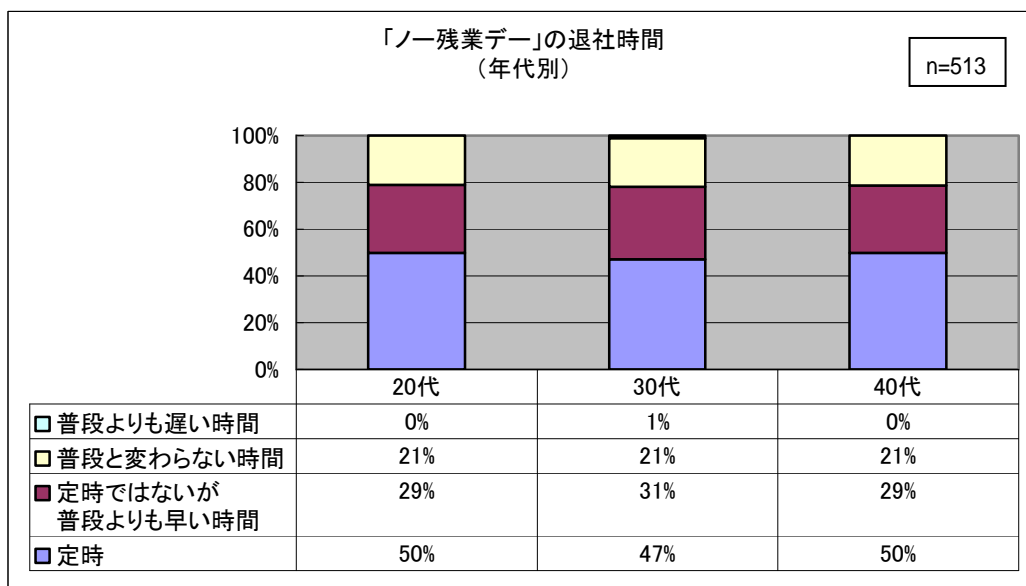
- 「週に1日」が最もポピュラー



「ノー残業デー」が「ある」と回答したかたに、その頻度をうかがったところ、「週に1日」が67%でトップでした。

「ノー残業デー」の退社時間（年代別）

- 約半数が「定時で帰る」



「ノー残業デー」は定時に帰るかたが約半数、「定時ではないが普段よりも早い時間」に帰るかたが約3割となり、合わせて約8割のかたが普段よりも早く帰っていることとなります。この結果からは「ノー残業デー」が制度として機能していることがうかがえます。